

**2024 年度 看護師特定行為研修
第 6 期生 募集要項**

亀田総合病院

特定行為研修の目的・目標

亀田メディカルセンターは、豊かな人間性を備え、優れた看護実践を提供するとともに、主体的に自己のキャリア開発を目指す看護職を育成することを目的としています。また、少子高齢化社会において、急性期から在宅まで、様々な領域で患者の状態を見極め、ニーズに迅速かつ効果的に対応するために、特定行為を活用して看護の専門性を発揮する看護師を育成することを目標としています。

募集区分・定員（2024年度の募集区分は、以下の5つです）

- | | |
|-----------------------|-----|
| 1. 在宅・慢性期領域パッケージ | 若干名 |
| 2. 外科術後病棟管理領域パッケージ | 若干名 |
| 3. 救急領域パッケージ | 若干名 |
| 4. 集中治療領域パッケージ | 若干名 |
| 5. 単区分：血糖コントロール薬剤投与関連 | 若干名 |

応募資格

1. 看護師免許を有すること
2. 看護師の免許取得後、通算5年以上の実務経験を有していること
3. 所属長の推薦があること
4. 演習・実習・試験のために、当院に通えること

研修スケジュール

2024年9月 ～ 2025年8月までの1年間

2024年9月 ～ 2025年1月（予定） 共通科目：e-learning・演習・試験

2025年1月 ～ 2025年8月（予定） 区分別科目：e-learning・演習・実習・試験

*共通科目・区分別科目の講義は、原則毎月2回土曜開催

*区分の実習は、原則平日（区分により実習日程は異なります）

研修場所

亀田総合病院にて、演習・実習・実習を実施します

- 演習・試験：研修棟2階 研修室、CSSセンター
- 実習場所：ICU、ER、各病棟、画像センター、手術室

科目名と教育方法および時間数

- ① 研修は、共通して学ぶ「共通科目」と特定行為ごとに学ぶ「領域パッケージ・区分別科目」に分かれており、「共通科目」を修了したのち「領域パッケージ・区分別科目」を履修します（共通科目のみの受講はできません）。e-learningを中心とした講義、演習、実習により行われます。

1) 共通科目（9月～1月予定）※必修科目

- e-learningを中心とした講義および演習を受講し、各科目の試験に合格する必要があります。

共通科目名	時間数
臨床病態生理学	30 時間
臨床推論	45 時間
フィジカルアセスメント	45 時間
臨床薬理学	45 時間
疾病・臨床病態概論	40 時間
医療安全学／特定行為実践	45 時間
合計時間数	250 時間

2) 領域パッケージ・区分別科目（1月～8月予定）

- e-learningを中心とした講義を受講し各区分の試験に合格後、実習へ進み最終評価として観察評価を実施します。亀田総合病院で研修できる特定行為は以下の5項目です。

「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」、以外の単区分での取得はできません

領域パッケージ・区分名	時間数
在宅・慢性期領域パッケージ	61 時間
外科術後病棟管理領域パッケージ	119 時間
救急領域パッケージ	76 時間
集中治療領域パッケージ	76 時間
単区分：血糖コントロールに係る薬剤投与関連	16 時間

パッケージ及び区分の概要

	特定行為区分	特定行為	区分単位 (時間)	領域パッケージ				
				在宅	外科術後	救急	集中治療	血糖
1	呼吸器関連 (気道確保に係る行為)	経口・経鼻気管挿管チューブの位置調整	9		9	9	9	
2	呼吸器関連 (人工呼吸療法に係る行為)	機能的陰圧換気の設定条件の変更	29		17	29	23	
		非機能的陰圧換気の設定の変更 人工呼吸器がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 人工呼吸器からの離脱						
3	呼吸器関連 (長期呼吸療法に係る行為)	気管カニューレ交換	8	8	8			
4	循環器関連	一時的ペースメーカーの操作及び管理	20				8	
		一時的ペースメーカーのリード抜去 経皮的心臓補助装置の操作及び管理 大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整						
5	胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及び設定の変更 胸腔ドレーンの抜去	13		13			
6	胸腔ドレーン管理関連	胸腔ドレーンの抜去 (胸腔内に留置された穿刺針の抜針を含む)	8		8			
7	ろう孔管理関連	胃ろう・腸ろうがてい・胃ろうボタンの交換 膀胱ろうがてい・膀胱ろうがてい・膀胱ろうがてい	22	16				
8	栄養に係るがてい管理関連 (中心静脈がてい)	中心静脈がてい抜去	7		7		7	
9	栄養に係るがてい管理関連 (PICC関連)	PICC (末梢留置型中心静脈注射用がてい) 挿入	8		8			
10	創傷管理関連	褥瘡・慢性創傷における血流のない壊死組織の除去 創傷の陰圧閉鎖療法の実施	34	26				
11	創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	5		5			
12	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺による採血 検査動脈ライン確保	13		9	13	9	
13	栄養・水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴投与中薬剤 (高カロリー輸液) の病態に応じた調整 脱水の程度の判断と輸液による補正	16	11	11			
14	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリン投与量の調整	16				16	
15	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	8		8			
16	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	28		16		20	
		持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整						
17	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時的投与	26			20		
		抗精神病薬の臨時的投与 抗不安薬の臨時的投与						
18	心臓ドレーン管理関連	心臓ドレーン抜去	8					
区分別科目合計時間数			270	61	119	82	76	16
合計時間数 (共通科目+区分別科目数) 時間			520時間 +各 5 症例	311時間+ 各 5 症例	369時間+ 各 5 症例	332時間+ 各 5 症例	326時間+ 各 5 症例	266時間+ 5 症例
合計行為数			35	4	15	9	10	1

① 在宅・慢性期領域パッケージ

	特定行為区分	特定行為	領域パッケージ (時間)	
			在宅 (区分時間数+症例数)	
1	呼吸器関連 (長期呼吸療法に係る行為)	気管カニューレ交換	8+ 5 症例	
2	ろう孔管理関連	胃ろう・腸ろうがてい・胃ろうボタンの交換	16+ 5 症例	
		膀胱ろうがてい・膀胱ろうがてい		
3	創傷管理関連	褥瘡・慢性創傷における血流のない壊死組織の除去	26+ 5 症例	
		創傷の陰圧閉鎖療法の実施		
4	栄養・水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴投与中薬剤 (高カロリー輸液) の病態に応じた調整 脱水の程度の判断と輸液による補正	11+ 5 症例	
区分別科目合計時間数			61	
合計時間数 (共通科目+区分別科目数) 時間			311時間+各 5 症例	
合計行為数 17区分			4	

② 外科術後病棟管理領域パッケージ

No.	特定行為区分	特定行為	領域パッケージ
			外科 (時間+症例数)
1	呼吸器関連 (気道確保に係る行為)	経口・経鼻気管挿管チューブの位置調整	9+5 症例
2	呼吸器関連 (人工呼吸療法に係る行為)	侵襲的陽圧換気の設定条件の変更	17+10 症例
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更	
		人工呼吸器がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 人工呼吸器からの離脱	
3	呼吸器関連 (長期呼吸療法に係る行為)	気管カニューレ交換	8+5 症例
5	胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及び設定の変更 胸腔ドレーンの抜去	13+10 症例
6	腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去 (腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む)	8+5 症例
8	栄養に係るカテーテル管理関連 (中心静脈カテーテル関連)	中心静脈カテーテル抜去	7+5 症例
9	栄養に係るカテーテル管理関連 (PICC関連)	PICC (末梢留置型中心静脈注射用カテーテル) 挿入	8+5 症例
11	創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去	5+5 症例
12	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺による採血 橈骨動脈ライン確保	9+5 症例
13	栄養・水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴投与中薬剤 (高カロリー輸液) の病態に応じた調整 脱水の程度の判断と輸液による補正	11+5 症例
15	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	8+5 症例
16	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	16+10 症例
		持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	
		持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	
		持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	
区分別科目合計時間数			119
合計時間数 (共通科目+区分別科目数) 時間			369時間+各 5 症例
合計行為数 17区分			15

③ 救急領域パッケージ

No.	特定行為区分	特定行為	領域パッケージ
			救急 (時間数+症例数)
1	呼吸器関連 (気道確保に係る行為)	経口・経鼻気管挿管チューブの位置調整	9+5 症例
2	呼吸器関連 (人工呼吸療法に係る行為)	侵襲的陽圧換気の設定条件の変更	29+20 症例
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更	
		人工呼吸器がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 人工呼吸器からの離脱	
12	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺による採血 橈骨動脈ライン確保	13+10 症例
13	栄養・水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴投与中薬剤 (高カロリー輸液) の病態に応じた調整 脱水の程度の判断と輸液による補正	11+5 症例
17	精神及び神経症状にかかる薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時的投与	14+5 症例
		抗精神病薬の臨時的投与	
		抗不安薬の臨時的投与	
区分別科目合計時間数			76
合計時間数 (共通科目+区分別科目数) 時間			326時間+各 5 症例
合計行為数 17区分			9

④ 集中治療領域パッケージ

	特定行為区分	特定行為	領域パッケージ
			集中治療
1	呼吸器関連 (気道確保に係る行為)	経口・経鼻気管挿管チューブの位置調整	9+5 症例
2	呼吸器関連 (人工呼吸療法に係る行為)	侵襲的陽圧換気の設定条件の変更	23+15 症例
		非侵襲的陽圧換気の設定の変更	
		人工呼吸器がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 人工呼吸器からの離脱	
4	循環器関連	一時的ペースメーカーの操作及び管理	8+5 症例
		一時的ペースメーカーのリード抜去	
		経皮的心肺補助装置の操作及び管理	
		大動脈内バルーンパンピングからの離脱を行うときの補助の頻度の調整	
8	栄養に係るカテーテル管理関連 (中心静脈カテーテル管理)	中心静脈カテーテル抜去	7+5 症例
12	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺による採血	9+5 症例
		橈骨動脈ライン確保	
16	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整	20+15 症例
		持続点滴中のナトリウム、カリウム又はクロールの投与量の調整	
		持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	
		持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	
		持続点滴中の利尿剤の投与量の調整	
区分別科目合計時間数			76
合計時間数 (共通科目+区分別科目数) 時間			326時間+各5 症例
合計行為数 17区分			10

⑤ 血糖コントロールに係る薬剤投与関連

	特定行為区分	特定行為	区分
			血糖
14	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリン投与量の調整	16+5 症例
区分別科目合計時間数			16
合計時間数 (共通科目+区分別科目数) 時間			266時間+5 症例
合計行為数			1

応募方法

応募期間 2024年4月1日(月)～4月19日(金) 必着

申請書類

郵送による申請書類提出

1. 受講申請書 (様式1)
2. 履歴書 (様式2)
3. 推薦書 (様式3)
4. 看護師免許証の写し
5. 認定看護師認定証もしくは専門看護師認定証の写し (有資格者のみ)

【提出先】

〒296-8602 千葉県鴨川市東町 929

亀田総合病院 卒後研修センター 特定行為研修係

※すべて A4 サイズで提出すること (提出された書類は返還いたしません)

選考方法 書類審査、オンライン面接（面接日は要相談）
応募多数の場合は、書類選考し面接者を決定します

選考結果 2024年5月中にメールでお知らせします

受講料

◆入学金：20,000円（テキスト代込み）

◆共通科目＋領域パッケージまたは区分の合計金額を受講料とします

・共通科目受講料：亀田グループ職員 150,000円（税込）・外部受講者 300,000円（税込）

・領域パッケージ・単区分科目受講料は以下の表を参照

例）外部受講者受講料 共通科目 300,000円＋救急領域パッケージ 330,000円＝630,000円

No.	区分別科目	亀田グループ 職員	外部受講者
1	在宅・慢性期領域パッケージ	80,000円	240,000円
2	外科術後病棟管理領域パッケージ	210,000円	630,000円
3	救急領域パッケージ	110,000円	330,000円
4	集中治療領域パッケージ	120,000円	360,000円
5	単区分：血糖コントロールに係る薬剤投与関連	20,000円	60,000円

詳細については、選考終了後に受講決定者にご案内します

お振込み手数料は受講者負担となります、一旦納めた受講料は原則として返金いたしません

また、受講にあたっては看護協会の賠償責任保険に加入して頂きます

*再試験・追試験受験料や受講期間内で修了認定が受けられない場合、追加受講料が発生します

*研修のための宿泊費、交通費は自己負担となります

*本研修は、教育訓練給付制度（一般教育訓練）の対象ではありません

受講申請書

氏名 _____

私は、亀田総合病院 特定行為研修を受講いたしたく、ここに関係書類を添えて申請します。

志望理由

受講希望区分に○を付けてください

受講希望	特定行為区分名
	在宅・慢性領域パッケージ
	外科術後病棟管理領域パッケージ
	救急領域パッケージ
	集中治療領域パッケージ
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連

履歴書

西暦 年 月 日現在

正面上半身
(40×30mm)
3か月以内に
撮影したもの
裏面に氏名を記入

フリガナ		男 女
氏 名		印
生年月日	西暦 年 月 日生 (満 歳)	

フリガナ			携帯 TEL :
現住所	〒		E-mail :
フリガナ			勤務部署
所属施設名			
			*正式名称を記入すること
所属施設 住 所	〒		TEL
職歴	施設名	職種	職務期間
			西暦 年 月 ~ 年 月
			西暦 年 月 ~ 年 月
			西暦 年 月 ~ 年 月
免許取得年月日	保健師	西暦 年 月 日	号
	助産師	西暦 年 月 日	号
	看護師	西暦 年 月 日	号
認定看護師資格分野名 _____分野	認定看護師資格取得年 西暦 年 月 日	認定登録番号 号	
専門看護師資格分野名 _____分野	専門看護師資格取得年 西暦 年 月 日	認定登録番号 号	
看護協会賠償保険加入	有 (加入 : 西暦 年 月) 無		
当院への通学手段など	電車・バス・自家用車 / 演習・実習時の宿泊予定 有・無		

推薦書

亀田総合病院院長

亀田俊明様

_____を以下の理由により、貴院特定行為研修生として推薦致します。

(推薦理由)

西暦 年 月 日

施設名
推薦者職位
推薦者氏名